

トハモニ

特集 介護について考えてみませんか

ひと きらめき人シリーズ

独自の“TAM-TAMワールド”を展開することで知られるジオラマアーティスト田村映二さんの沼津市大塚にあるアトリエを訪ねました。素敵でどこかなつかしい作品の数々。一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。



ジオラマアーティスト 田村映二さん

- ★沼津市に生まれる。日本大学芸術学部卒業（美術学科）。
- ★グラフィックデザイナーを経てフリーとなる。
- ★'95・'96国際カレンダー展「銀賞」受賞、'01小学校音楽教科書表紙（1～6年生）、'03NHK教育TV「お母さんとっしょ」歌のコーナーのイラストBGV・CG展開。
- ★その他、個展、書籍の表紙、CDジャケットなど、各方面で活躍中。

Q ジオラマというのはどのようなものですか。

A 簡単に言うと立体模型です。発泡スチロールを加工して人物、乗り物、建物などである場面を立体的に現したものです。ポスター、絵葉書はそれに照明をあて写真撮影して作り上げています。

Q 現在のお仕事は、小さな頃からの夢だったんですか。

A 小さい頃はマンガ家に憧れていました。大学でデザインに触れた時、デザインがおしゃれな感じがして、絵とデザインを合体したイラストデザインをやってみようと思ったことが、現在の仕事のきっかけです。今は、好きなことをやっているの、苦にならないし、生まれ変わってもやりたいと思っています。



Q お仕事に対して何かこだわりがありますか。

A 自分の好きなものを創っているのですが、自分が欲しくなるような作品ということでは、かなりのこだわりをもっています。

Q 沼津にアトリエをもって良かった事がありますか。

A 海に出て、夕日をながめ風を感じながら飲むビール

は最高です。以前は、東京のアトリエでの仕事が多かったのですが、最近は、沼津で過ごすことの方が増えました。友人達もここに集まってくるようになって、沼津ライフを楽しんでいます。



Q 今年燦々ぬまづ大使に任命されましたが、ご感想は。

A 大変光栄です。沼津市は、海あり、川あり、おいしいものも沢山あります。それを生かしてもっと人が集まる魅力ある街になったらいいですね。もちろん沼津のPRを精一杯させて頂きたいと思っています。

Q 最後に、男女共生についてはどう思われますか。

A この世の中、男と女しかいないんだから仲良くやっていきたいですね。

とても気さくで、温かくもてなして下さった田村さん。きっとそんなところが作品に表れているのでしょうか。楽しい一時を有難うございました。

田村さんのホームページ「TAM-TAMWORLD」では、田村さんの温かい独自の世界が紹介されています。<http://www.TAM-TAM.ne.jp>

特集 介護について考えてみませんか

平成11年6月に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行され、男女共同参画社会の形成に向け総合的な施策が展開されています。沼津市においても平成11年3月に策定された「ぬまづ男女（ひと）ハーモニープラン」を指針に様々な施策に取り組んでいます。

「男女共同参画」の問題は、家庭や学校、職場、地域と様々なところで、様々な場面でかかわってきます。それは、「介護」という場面でも例外ではありません。

日本では、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。静岡県は平成15年の65歳以上の高齢者人口は、73万3,107人と毎年増加しています。このうち、女性は42万457人、男性31万2,650人で女性6人に対し男性4人という割合です。一方、高齢化率は19.3%で昭和55年（9.1%）の約2倍と急速に上昇を続けています。

介護の担い手については、静岡県における介護者の性別は、被介護者の性別に関係なく、女性が介護する割合が圧倒的に高くなっています。

少子高齢化の進展を背景に、平成12年4月、「高齢者の介護」を社会全体で支え合う仕組みとして「介護保険制度」が導入され、従来、家族、特に女性がその多くを担っていた「介護」の問題が、男性も含めた社会全体の問題としてとらえられるようになってきました。

「介護は女性の役割」という考え方はまだまだ多いといえますが、「介護」はすべての人にかかわる問題であり、男性も女性もともに考え、ともに取り組んでいくべき問題です。

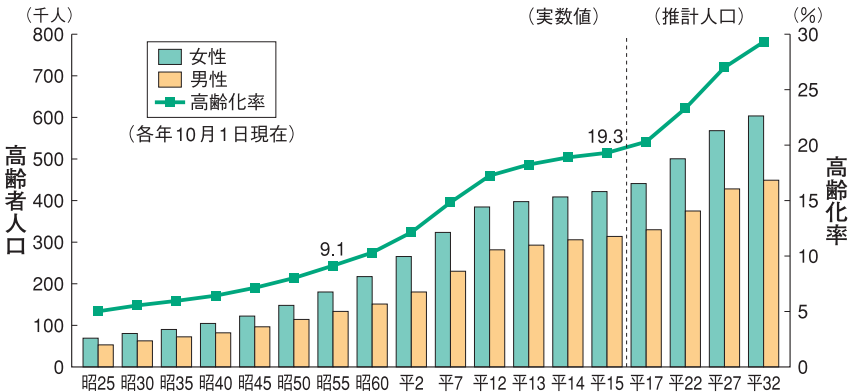
今回は、「介護保険」の利用の仕方やサービスについて特集しました。「介護」に取り組むに当たっての、そして、男女共同参画社会の実現の一助となれば幸いです。

高齢者人口と高齢化率の推移（静岡県）

平成15年の65歳以上の高齢者人口は、73万3,107人と毎年増加している。このうち、女性は42万457人、男性31万2,650人で女性6人に対し男性4人という割合である。一方、高齢化率は19.3%で昭和55年（9.1%）の約2倍となり急速に進んでいる。

	総人口 (人)	65歳以上 人口 (人)	75歳以上 人口 (人)
平成15年	3,792,982	733,107	321,973
女性	1,923,499	420,457	202,750
男性	1,869,483	312,650	119,223

■資料出所：「国勢調査」総務省統計局（昭25～平12）
 「静岡県推計人口年報」静岡県企画部生活統計室（平13～15）
 「都道府県別将来推計人口」厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所（平17～32）

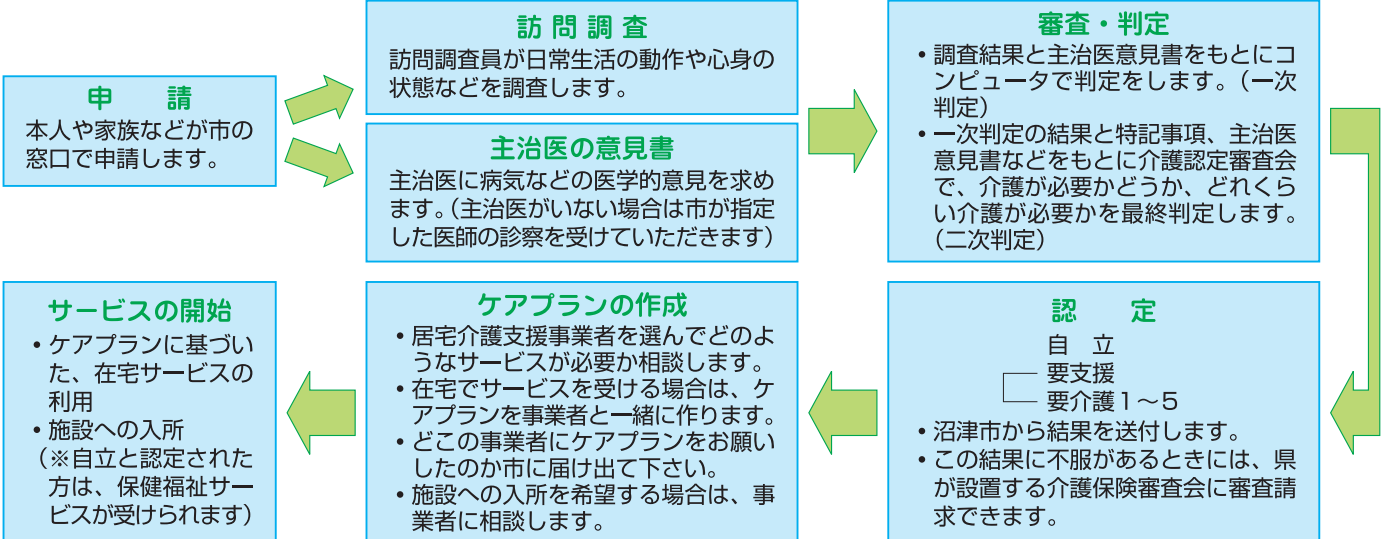


介護保険制度とは……

介護保険は、社会全体で介護を支え合う制度です。40歳以上のみなさんが加入者（被保険者）となって保険料を納め合い、介護が必要になったときには、要介護認定を受け、費用の1割を負担することによって必要な介護サービスを利用できます。

利用するにはどうすればいいの？

まず市の窓口で申請することからはじまります。



少子・高齢社会の中で、いずれ誰もが介護する側・介護される側に… より良く生きるために、介護とどう向き合っていきたいのだろうか…

脳梗塞で倒れ寝たきりとなった実のお母様（当時75歳）を12年間在宅介護された後、お母様は6年前に他界、現在は「沼津市在宅介護家族の会」でボランティアをされている山室設子さんにお話を伺いました。

母の命を大切に思い、母の尊厳を守りたい

長期の介護は確かに大変でした。当時、「母の命を大切に思い、母の人間としての尊厳を守りたい」そんな思いで介護の日々を送っていました。でも、親戚、家族、友人の協力があったり乗り切れたと思っています。そして何より、長年の闘病に耐えてくれた母の人柄に助けられました。

当時は、在宅介護支援が始まったばかりでしたが、いろいろなサービス（公的なもの、民間のもの）を活用しました。介護をマイナスとは思わず有意義にやっていきたいと考えていました。

知恵と心を働かせて

知恵を働かせて、心を働かせて向き合うことが大切かもしれません。介護を終えてから、自分の経験を形に残したいと思いヘルパー2級の資格をとりました。また、母が召された日（'97年12月19日）の2か月前に、静岡県社会福祉協議会会長表彰を受けた事も、今は懐かしい思い出となっています。

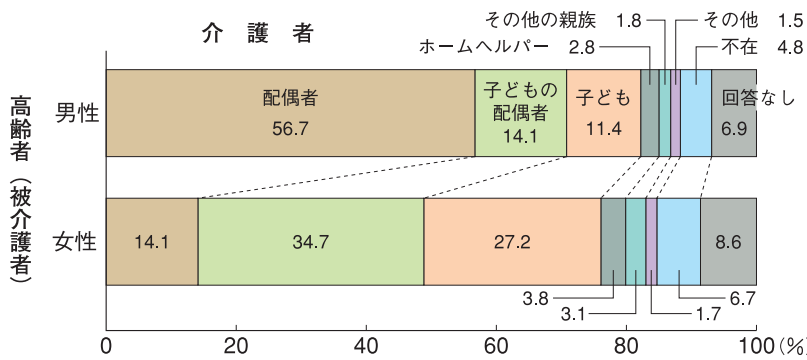
地域での介護

今は、介護保険制度という介護の社会化が実現できましたが、それに加え、これからは、地域での介護も必要だと思います。家族、地域で助け合い、支え合って介護に取り組むことが大切なのではないでしょうか。



在宅要介護高齢者の主な介護者（静岡県）

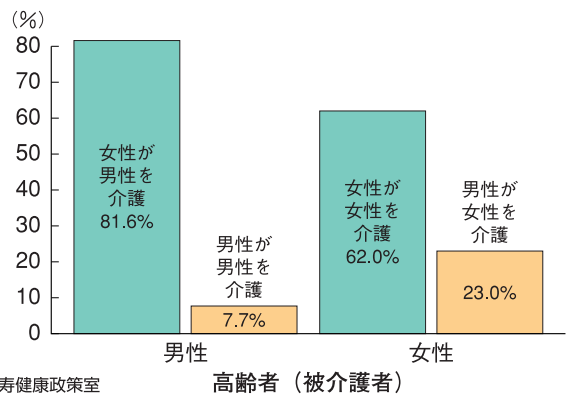
男性の介護をするのは、56.7%が配偶者であるが、女性を介護するのは、子どもの配偶者が34.7%、子どもが27.2%となっている。



資料出所：高齢者実態調査（平成13年度）静岡県健康福祉部 長寿健康政策室

介護者の性別（静岡県）

介護者の性別は、被介護者の性別に関係なく、女性が介護する割合が圧倒的に高くなっている。



どんなサービスがあるの？

介護保険では家庭での介護を中心とする「居宅サービス」と、施設へ入所する「施設サービス」が利用できます。

居宅サービス	施設サービス
<ul style="list-style-type: none"> ●家庭で受けられるサービス <ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルパーの訪問 ・看護師などの訪問 ・入浴サービス ・家庭でのリハビリテーション ・医師などによる居宅療養管理指導 ●日帰りで施設に通って受けるサービス <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンターなどでの通所介護（デイサービス） ・通所リハビリテーション（デイケア） ●施設へ短期間入所するサービス（ショートステイ） <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護、短期入所療養介護 ●その他のサービス <ul style="list-style-type: none"> ・ケアハウスや有料老人ホーム等での介護 ・グループホーム ・福祉用具の購入費・住宅改修費の支給 ・福祉用具の貸与 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） <p>常時介護が必要で家庭での介護を受けることが難しい方が入所する施設です。</p> ●介護老人保健施設（老人保健施設） <p>治療の必要はないが、看護や介護、リハビリテーションを主としたケアと生活サービスにより家庭復帰を目指す方が入所する施設です。</p> ●介護療養型医療施設（療養病床等を有する病院・診療所） <p>病状の安定している長期療養を必要とする方が入所する医療施設です。</p>

問い合わせ先・要介護認定の申請先

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号
沼津市役所 福祉事務所 長寿介護課 介護保険室
TEL 934-2731・934-4836

だん じょ きょう どう さん かく

男女共同参画推進講演会を開催します!



演 題

変わる勇気、変える勇気 ～女と男とのもっといい関係～

講 師 **辛 淑玉さん**

講師の辛さんは、東京生まれの在日コリアン3世。人材育成コンサルタントとして大活躍。

現在、「女性・人権」に関わる研修・講演の依頼を受け全国を飛び回っています。

歯切れのよい語りで、男女の、社会の『これって変だな』に気付かせてくれます。

と き ● **平成16年
11月13日(土)**
13:30～15:30(開場13時)

ばしよ ● **沼津市立図書館
視聴覚ホール**

市民ボランティアによる大型紙芝居、朗読も楽しみ!です。今回のテーマは、ドメスティック・バイオレンス。
現在、静岡県教育委員会生涯学習課勤務の奥山和弘さんの昔話をアレンジした『サルカニ・バイオレンス』をご披露いただきます。

入 場 無 料

定員200人(先着順)

申 し 込 み

男女共生推進室へお電話・FAXで

託 児 あ り

希望される方は予約をしてください。(1歳から6歳までのお子さん10人)

手話通訳あり

主催・お問合せ/沼津市企画部政策企画課男女共生推進室
TEL 055-934-4705 FAX 055-934-5011

男女共同参画地域出前講座を開催します!

今年度、第一、大平、金岡、今沢、原地区の5地区で開催します。18年度までに全ての地区で開催を予定しています。日程は調整中ですが、お近くで開催の折には是非ご参加下さい。

講師は

茨城大学助教授 長谷川幸介さん

★最近の講演テーマは『新「役」聖書とこれからの家族』『4つの緑、今と未来』ユーモアたっぷりのお話を聞かせてくれます。



講談師 宝井琴桜さん

★架空の家族「山下さんち」ご一家が登場する物語は男女間、夫婦間、親子間など身近な話題をテーマに取り上げ、張り扇を手にも聞かせてくれます創作講談。



を予定しています。

- ★あなたも**ハーモニー**に参加してみませんか。
- ★ご意見・ご感想・イラストをぜひお寄せください。

沼津市男女共生情報紙第8号 **ハーモニー**

編集委員：伊藤裕子 小野寺美佐子 坂田圭代 嶋野満子 成田るり子 根上茂美 松本徳子

発行：沼津市企画部政策企画課男女共生推進室 〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL 055(934)4705 FAX 055(934)5011

E-mail kikaku@city.numazu.shizuoka.jp